

海の声

～VOICE OF OCEAN～

地域の皆様と保護者の皆様とわたしたち「チーム御所浦」で「瞳 きらきら 心 ぴかぴか」な子どもたち、夢を笑顔で語れる子どもたちを育てていきたい。

天草市立御所浦小学校 学校通信
文責 木場正敏

No.3

令和4年5月12日

御所浦小中合同運動会テーマ「一意奮闘」

『最後まで全力（フルパワー）！創り上げよう！努力の結晶』

「運動会テーマに込めた思い」

御所浦小学校 企画運営委員会 副委員長

今年の小中合同運動会のテーマは、『一意奮闘～最後まで全力（フルパワー）！創り上げよう！努力の結晶～』です。これは、中学校の生徒会のみなさんと話し合っ

て決めました。このテーマを決めるにあたって、御所浦小のみんなにどんな言葉を入れたいかアンケートを取りました。すると、「最後まで」や「努力」という言葉が挙がりました。昨年度に引き続き、コロナが流行しているため、今年度の運動会の中でも様々な制限があります。でも、中学校3年生や私たち6年生にとっては最後の運動会です。制限の中でも、練習に一生懸命取り組みたいと思います。そして、最後まで全力でやりきって、小中学生から地域の方へ元気を与えられるような運動会になるよう、このテーマのもと頑張ります。

「副団長として」 赤団副団長

ぼくは副団長として頑張りたいことが3つあります。1つ目は、団長をサポートすることです。団長をサポートするために誰よりも声を出して、みんなを引っ張っていけるように頑張りたいです。

2つ目は、演舞をきれいにおどることです。演舞がきれいに決まれば、見ている人も感動してくれると思います。

3つ目は、みんなをまとめることです。副団長でも、団員に優しく声をかけたり、お手本を見せたりして分かりやすく教えてあげたいです。

最後には、みんなが「今年は赤団でよかった。」と言ってくれるよう、周りを見て考え、積極的に行動したいです。

「団長としてがんばりたいこと」 赤団団長

ぼくがどうして団長になりたかったかという、自分を変えたいと思ったからです。ぼくはこれまで、いろいろなことで他の人をまとめることが苦手でした。でも、みんなをまとめる団長を経験すれば、そんな自分を変えられると思いました。まずは、自分自身が楽しんだり、一つ一つを本気で頑張ったりすることで団を盛り上げたいです。そして、運動会の後には、みんなが「楽しかった。」や「最高だった。」と言える運動会にしたいです。

団長・副団長に意気込みを聞きました！！



ヒラメ稚魚放流～大きくなって帰っておいで～

5月2日ヒラメの稚魚放流を行いました。今回の事業は、天草漁協御所浦支所様の協力のもと、「地域を知る」活動の一環として、特に海と身近な御所浦に住み、その自然の豊かさを感じるとともに、自然環境を大切にすることを目的としての実施です。体長5～10cm位のヒラメの稚魚1500匹以上を放流しました。一人10～20匹ぐらいを放流した計算になります。「大きくなって帰っておいで」「元気に育つんだよ」と思い思いの声をかけながら、稚魚を実際に手にのせたり、ペットボトルに入れたりして放流しました。



「副団長として頑張りたいこと」 白団副団長

私が副団長として頑張りたいことは2つあります。

1つ目は、団長のサポートをすることです。団長ばかりに任せず、自分から動いて下級生の手本になりたいです。

2つ目は、何があっても笑顔があふれ協力できる団をつくることです。そのために、困っている人には優しく教えたいです。そして、運動会の後に団員みんなが笑顔で、この団でよかったと思えるようにしたいです。

この2つのことを中心に、練習から頑張っていきたいと思います。小学校最後の運動会だから、いろんな人に感謝の気持ちをもって取り組みたいです。白団のみなさん、絶対優勝して笑顔で終わりたいです。

「団長として」 白団団長

ぼくは、団長として2つのことを頑張ります。

1つ目は、大きな声ではきはきと言うことです。授業中の発表の時、声小さくなる場合があります。だから、この団長という経験を通して、自信をもってなんでも言えるようになりたいです。

2つ目は、考えて行動することです。ぼくは、あせった時に周りを見ず、自分勝手に行動してしまうことがあります。だから、周りを見ながら、自分にできることを考えて行動できるように頑張ります。

ぼくが団長になりたいと思ったのは、今までの6年生の団長がかっこよかったからです。その団長のよう、きれいな演舞と大きな声で最後まで頑張り、勝っても負けても「楽しかった。」と思えるような運動会にしたいです。